

# 山大にゃんこ大作戦

—略して YND—

代表者 佐知元気 (共獣 B 5 年)  
構成員 山本恭広 (共獣 B 5 年) 中川夏子 (共獣 B 5 年) 大山ゆき (共獣 B 5 年)  
他 26 名

## 1. 山大にゃんこ大作戦の概要と目的

山口大学内に生息する飼い主のいないねこの個体数および生態等を調査し、「大学ねこ」として不妊手術の実施や里親への譲渡等を通じて個体管理することで、最終的に飼い主のいないねこを大学から減らしていく。その過程においては、地域猫活動において実績のある自治体および他大学（立命館大や横浜国立大など）との連携も模索する。

こうした生態調査や近隣住民や他団体との関わりを通じて公衆衛生的知識を深める。将来的には、不妊手術の実施を通じて獣医外科的手法を学ぶことにより、獣医学部学生の実践的な学びの機会をつくる。

下図は当活動の概略図である。



図 1-1 プロジェクトの概要図とその内容

①: 個体数・生態調査を通じて公衆衛生的な知識および実践（短期）、不妊手術の実施を通じて外科手術の実践を実現する（中・長期）。学生は獣医師としての実践的な知識を身につけることが可能である。生態調査でドライキャットフードを使用する予定。

②・③: 地域社会および自治体（県・市）、他大学との関わりで学部学生は社会性を身に着けることができる（短期）。また学内ねこを身近な存在にすることで大学をより社会に開かれた大学にできる（中・長期）。

短期から中長期目標を立てているが、今年度プロジェクトでは短期目標の達成を目指す。また本計画を長期的に学部学生で受け継ぎ続け、様々な展開に挑戦し、学部かつ山口大学の伝統に転化していきたい。

## 2. これまでの活動と成果

### 2-1 調査結果

5月に発足し、週一回程度の学内調査を目視で行い、現時点で4エリア（下図）に成猫30頭ほどが生息していることがわかった（子ねこの頭数を含めていないため生息数はより多いと考えられる）。なおこの調査ではねこを引き寄せるため少量のエサ（一回10～20粒ほど）を使用しているが、エサが無くなってから調査地を離れるもしくは掃除をしてから離れるようにしている。調査時間は週1回～2回、早朝に行っている。



図 2-1 ねこの生息エリア

また調査時にそれぞれのねこの写真を撮影し、それぞれのねこの特徴等をまとめた「ねこ台帳」を作成した。

## 2-2 学内外での活動

当初の目標である自治体および他大学との連携を達成するため、下記のような活動を行った。

5月には山口県地域猫活動担当職員（当大学獣医学科卒業生）の地域猫についての講習会を開催した。

8月には九州大学ねこ部さんとの合同合宿、勉強会を開催し、今後も連携することとなった。

防府のカフェなどから活動の協賛をいただいた。湯田地域猫活動を行っていた会の元会長さんとのねこ管理および捕獲時の協力体制を構築。



図 2-2 5月の講習会の様子



図 2 - 3 防府のカフェウイラニ様との写真



図 2 - 4 8月の九州大学ねこ部さんとの合同合宿の様子



図 2 - 5 九州大学ねこ部さんとの集合写真

### 3. 今後の予定

#### 3-1 継続調査

上記の調査を継続しつつ、ねこがこちらに慣れてきた段階を見計らって餌やり等も開始したいと考えている。具体的には12月～1月から開始したい。同時期には調査や餌やりを通じてねこを人馴れさせ、個体識別のための首輪などの装着を予定する。調査時には餌以外のもの（マタタビなど）を使用するなど、糞が少なくなるような方法も考慮していく。より正確な生息数を把握するため、定点設置カメラなどを使用していきたい。

#### 3-2 ねこの管理方法に関するルールづくり

今後、学生・大学職員・地域住民と協力して学内ねこの長期管理を実現したいと考えている。現在調査時にねこの餌やりをしている方を見かけた場合には積極的に話しかけるようにしており、協力していただけるような素地を作っている最中である。このような方々の中には学内の衛生環境にそぐわない餌やり（多量に餌を与え、その後放置するなど）をやられている方もいる。そこで学内の衛生環境を保ちつつ、ねこと共存するために、餌やりおよび掃除等のルールづくりとその周知が必要と考える。当会で、そのルールをつくり、周知するためのポスターの貼り付けなどをやらせていただきたい。

通常の地域猫活動では固定したトイレの設置（固定位置に猫砂を入れたプランターを設置など）が行われているが、当活動では現状を考え、固定したトイレの設置は行わない予定である。糞を見つけた際に掃除を行うなど随時清掃を行うとともに、大学の学内清掃時に当会も参加させていただくなどといった形で学内衛生環境の保持に協力させていただきたい。

#### 3-3 TNR 活動に向けた捕獲

最終目的である大学に生息するねこ全頭に不妊手術を施すために本年度内に試験的な捕獲を実施したい。具体的には2～3月に実施したい。

#### 3-4 不妊手術

現時点での予定では来年度初めから本格的な捕獲および不妊手術の実施を行いたい。手術は当大学動物病院で行われる予定。